

平成24年9月 マンスリー レポート

集計企業数 **60** 社

① 売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	47,819,150 万円	100.0%	102.6% (102.3%)	45,792,766 万円	99.3% (99.0%)
食 料 品	40,230,178 万円	84.1% (83.5%)	102.5% (102.1%)	38,593,841 万円	99.4% (99.0%)
農 産	6,010,339 万円	12.6% (11.8%)	101.6% (100.7%)	5,770,968 万円	98.6% (98.0%)
水 産	3,837,867 万円	8.0% (7.9%)	100.3% (99.6%)	3,677,695 万円	97.2% (96.4%)
畜 産	4,504,670 万円	9.4% (9.0%)	102.8% (102.8%)	4,305,084 万円	99.2% (99.3%)
惣 菜	4,410,333 万円	9.2% (9.7%)	103.6% (103.8%)	4,210,616 万円	100.0% (100.0%)
日配食品	9,161,343 万円	19.2% (18.6%)	102.2% (102.0%)	8,801,940 万円	99.4% (98.9%)
加工食品	12,305,626 万円	25.7% (26.5%)	103.3% (102.8%)	11,827,538 万円	100.5% (99.8%)
生活関連	3,287,341 万円	6.9% (7.0%)	101.9% (100.6%)	3,177,700 万円	99.1% (97.9%)
衣 料 品	1,443,272 万円	3.0% (3.2%)	100.0% (103.4%)	1,385,396 万円	96.7% (100.1%)
そ の 他	2,858,359 万円	6.0% (6.3%)	105.9% (105.4%)	2,635,829 万円	99.7% (99.7%)

② 数 値

全店総売上高	47,819,150 万円	店 舗 数	4,287 店舗
総売場面積	8,355,603.8 m ²	総従業員数	223,472 人

店舗平均月商	11,154.5 万円	平均客単価 (前年同月比)	1,752 円 (99.3%)
月間m ² 売上(前月)	5.7 万円 (6.1 万円)	平均店舗面積	1,949.1 m ²
月間坪売上(前月)	18.9 万円 (20.2 万円)	パート比率(前月)	77.3% (77.5%)

注) 総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

《 全体概況 》

- ・ 9月は、長引いた残暑の影響により、秋物商材（鍋物、おでん材料など）の動向が不調で、売上づくりが厳しかった。涼味商材の動向は良かったがカバーするまでには至らなかった
- ・ 昨年より1日ずつ土・日曜日が多かったが、9月最終週土・日曜日の台風17号の影響で売上が伸び悩んだ
- ・ 火を使わず食べられる生食や涼味関係が好調に推移し、「即食・簡便」など無駄の少ない商品の支持が高かった

《 商品動向 》

○ 農産

- ・ 野菜では相場安の影響の中、キャベツ・白菜・レタス取引点数は増えたが、売上は前年を下回った
- ・ 気温が高かったことを受け、きのこ類の動きは不調だった
- ・ 果物ではぶどうの食味が良いことに加え、相場安も重なり拡販しやすく大幅に伸びた
- ・ 高温・少雨・多照の影響から果物は全体的に良い出来となった。中でも梨・もも・スイカの動向は良かった

○ 水産

- ・ さんまの漁獲量が少ないことで、中小サイズを販売（頭取り、三枚おろし、開きなどの料理メニュー提案）したことから販売動向が鈍り、前年の売上を下回った
- ・ 旬の生秋鮭も不漁と鍋ニーズの出番なく売上は苦戦した
- ・ 気温高により刺身は好調に推移した

○ 畜産

- ・ 牛肉の売上は戻りつつある。9月は焼肉商材の動向は良かった
- ・ 牛肉の売上回復に伴い、豚肉・鶏肉・加工肉の売上は苦戦した
- ・ 例年、中旬以降に動きの良くなる鍋材料は、残暑の影響により動向は悪かった

○ 惣菜

- ・ 残暑が続いたことにより、おつまみ関連の動向は良かった。また、涼味関連（冷やし中華、ざるそばなど）の動きも良かった
- ・ 気温が高かったことで、家庭内調理を控えた影響により、天ぷら・フライの動向は良かった。中でもカキフライは好調だった

○ 日配・加工食品

- ・残暑の影響で、涼味商材（冷やし中華、ところてん、アイスなど）の動きは好調だった。反面、パン、卵、漬けものは不調だった
- ・デザート、ヨーグルト、ゼリーの動向は良かった
- ・夕方の気温も下がらず、おでん材料は不調だった
- ・残暑が続いたことにより、飲料、炭酸飲料、ノンアルコールビールは好調だった
- ・米は相場高により単価が上昇したことにより、売上は好調だった
- ・残暑の影響で、カレー・シチュー・スープの秋物商材の動きは苦戦した

○ 「秋の行楽商戦、お彼岸」について

- ・飲料、ビール、ノンアルコール飲料は好調だった
- ・おはぎは好調に推移した。インスタ加工の比率を高めたことが奏功した

○ 「防災グッズ」について

- ・8月の中旬以降より水、菓子、缶詰やカセットボンベなど売り場への展開を行ってきたが、家庭内在庫の過多により、売れ行きは鈍った

○ 「運動会について」について

- ・やきとり、ナゲット、ウインナー、ミートボールなどの弁当商材は好調だった
- ・果物のお弁当商材で、皮つきのまま食べられるぶどうの動きは良かった
- ・運動会の開催が、秋から春へ移す学校は増えている

以上